

【資料1】

大和郡山市立筒井小学校 外国語活動授業記録		
(5)月(21)日(火)(5)限		
教材(Hi, friends P. 20)		
本時のめあて(友だちとすきな色や形を聞いたり、答えたりしよう)		
授業内容・指導者の指示と動き	児童の活動状況	○良い点・●課題
(Greetings) Hello. How are you? I'm ~. 3人の友だちに挨拶しよう	友だちと挨拶する A児:友だちと挨拶せず、一人で活動の時間を過ごした。 B児:友だちと挨拶せず、教室を歩く。	●3人の友だちと挨拶するところ、3人グループを作ると勘違いしていた児童が数名いた。① ●本時のめあてを言い忘れた。② ●指導者の指示(英語)が理解できていない。③
(Small Talk) 奈良公園への遠足の話	指導者の話を聞く。	○指導者の話を一生懸命聞いていた。
(Review) 色・形のフラッシュカードで発音	指導者の後について発音練習する。	○大きな声で発音できた
(Chant) P.20 Let's Chant Let's Listen	チャンツでフレーズを練習する。 英語をしっかり聞く。リスニングの後、指導者の問いに答える。	○大きな声でリズムに合わせてしっかり言えた ○集中してリスニングができていた。 ●Let's Listen の答えを言うとき、どのタイミングで言っていないかわからず、答えを言う機会を逃してしまう児童がいた。④
(Activity) What color do you like? What shape do you like? How many (shapes)? 隣の席の友だちとペアになる。ペアワークで友だちのすきな色や形、すきな形の数を聞き、友だちの T シャツをデザインして、色鉛筆でTシャツの色を塗る。	インタビューして友だちの好みを聞き、友だちの T シャツを作る。	●インタビューして、デザインし、描いて色塗りしてから交代となっていたので、時間が足りない。⑤ ●ペアワークでのやりとりの内容がわからない、あるいは正しく言えない児童がいる。⑥
(Reflection)		●振り返りシートに工夫を加える。⑦ ●時間がなくてできなかった
(Greetings) 日直(Today's leader)	Today's leader 2人 That's all for today.	

【資料1】

次時及び今後への改善点

- | | |
|---|---|
| ① | 3人の友だちに挨拶をする活動を T1,T2,T3 でデモンストレーションし、わかりやすく示す。 |
| ② | 本時のめあてを Small Talk の後に児童と一緒に確認する。 |
| ③ | 授業でよく使う Classroom English を動作をつけて発音する活動を授業の始めに設定する。 |
| ④ | 全員に答えを問う場合は、言うタイミングをしっかりとわかるように示し、答えを言う機会を全員に与える。one,two のかけ声をかける。 |
| ⑤ | ペアで話す(やり取り)活動をしてから、色塗りをする。 |
| ⑥ | 友だちの答えを T シャツプリントの枠外のところにメモできる欄を設ける。
ペアワークでのやりとりの練習をして、言えるようになってから Activity に入る。 |
| ⑦ | 児童の名前の欄を上にする。
書く活動は、児童にとって初めてであるため、見本の単語に気をつける。
書き写すときは見本を上を示す。
自己評価の部分は A,B,C とニコちゃんマークはどちらに○をしいのかわかりにくいため、A,B,C を消す。 |
| ⑧ | できあがった友だちの T シャツを次の時間に渡す。 |
| ⑨ | 友だちに T シャツを渡すため、誰から誰への T シャツかわかるように名前を書く。 |
| ⑩ | 授業で使う学習シートや振り返りシート及び作品などは綴じるようにファイルを用意する。 |

子どもの思考力・判断力・表現力向上事業

大和郡山市立筒井小学校

アクション・リサーチの手法を用いた研修プラン

高良 宗彦

【ゴール設定シート】

<児童生徒の現状>

- ・授業に意欲をもてない
- ・特定の間人関係に固執している
- ・学力に差がある
- ・思春期を迎え、友達関係に悩むことや、トラブルが起こることがあるが、自力解決はできない

<目指したい児童生徒の姿>

- ・どの児童も主体的に活動したり、授業に意欲をもって取り組んだりすることができる
- ・児童同士が誰と活動しても同じテンション、スタンスで活動することができる

<指導者として高めたい力>

- ・授業において、児童が意欲的に活動することができるようなしかけのある教材をつくることができる力
- ・安心して発言できたり、意見を交流させたりすることができる学級経営の力
- ・外国語の授業を不安なく行える力



<アクション・リサーチのゴール>

- ・児童が安心して考えを伝え、伝え合いを通して学びを深める。

【資料 2】

子どもの思考力・判断力・表現力向上事業

大和郡山市立筒井小学校

アクション・リサーチの手法を用いた研修プラン

【計画シート】

<他教員・指導者よりのアクション・リサーチに関するアドバイス>

- ・児童の聞く姿勢を育てる。活動を通して友達と学ぶために、しっかり聞くことの大切さを浸透させる。
- ・「単元の終わりに何ができるようになるか」を指導者と児童とで共有し、学習への意欲を高める。
- ・指示や活動内容については、丁寧にわかりやすく示す。

<アクション・リサーチにおけるアクションの計画(授業案等)>

Phase 1 ゴール: 「学級の児童全員が楽しく参加できる授業実践」

学級の児童が全員参加できる授業を計画し、児童が外国語活動でのコミュニケーション活動を楽しんでほしい。

Phase 1 のゴール達成の手立てとして、以下の点に取り組む。

- ① 指導者と児童が単元のゴールイメージを共有する。
- ② 指導者の指示を理解し、スムーズに動作に移るために Classroom English を定着させる。
- ③ 学習計画に既習事項を用いた言語活動を設定し、指導者がデモンストレーションをする。
- ④ 児童が自分の学習の姿や気付いたことを授業の終わりに振り返る機会となるように振り返りシートを活用する。
- ⑤ 児童が「やってみたい」と思えるように、楽しい要素を取り入れ、児童に興味をもたせる活動内容を毎時間設定する。

<アセスメントの方法>

- ・授業記録・児童観察
- ・授業の振り返りシート
- ・学期末に行う外国語活動授業アンケート
- ・Q-U

【資料3】

大和郡山市立筒井小学校 外国語活動授業記録		
(5)月(23)日(木)(6)限		
教材(Hi, friends P. 21)		
本時のめあて(友だちと好きなものを聞いたり答えたりしよう)		
授業内容・指導者の指示と動き	児童の活動状況	○良い点・●課題
(Greetings)T1,T2でデモンストレーションを行い、3人の友だちと挨拶をする。	3人の友だちと挨拶をする。 How are you? I'm ().	○デモンストレーションをしたことで、しっかり挨拶ができた。
(Classroom English) Stand up. Raise your hand. Make pairs.を板書し、リズムに合わせて発音、動作をする。	指導者の指示に合わせて、発音・動作を行う。	○大きな声で動作もつけて楽しくできた。 ○ゆっくり発音だけ→発音+動作→リズムを早くして発音+動作の3段階にしたことでより定着が良かった。 ○早いリズムが良かった。①
(Small Talk) T1,T2,T3で好きな動物と食べ物を聞いたり、答えたりするデモンストレーションをする。 T2,T3は答えるとき、次時のTopic: What's this?を用いて好きな動物や食べ物をクイズにする。	指導者のクイズに答える。 個々の答えの後に、指導者のone,twoのかけ声に合わせて全員で答える。	○指導者の話す英語を一生懸命聞こうとし、全員がクイズに参加できた。
(Review) 前時に作ったTシャツを友だちにプレゼントする。 渡すときのデモンストレーション。 Tシャツに記名の指示。	A: This is your T-shirt. B: Thank you.	○友だちに作ってもらったTシャツはとても嬉しそうだった。
(Activity) What () do you like? I like …. ()に food,sport,animal を入れてT1,T2でデモンストレーションをする。 ペアで練習。 ()に聞きたいものを入れて、できるだけたくさんの友だちに好きなものをインタビューする。 P.21の表にメモをとる。	ペアでターゲットセンテンスのやり取りを練習する。 友だちにインタビューをする。 P.21の表に名前や友だちの答えを記入する。	●Open your textbook to page 21.の指示でP.21を開けられない児童がいた。数字11~の復習が必要。② ○ペアで練習したため、インタビューの活動では「何を言っているかわからない」という児童はいなかった。
(Reflection)時間がなくて振り返りシートへの記入ができなかった。		●時間がなくて振り返りシートへの記入を学級でしてもらおう。
(Greetings) Today's leaderに挨拶を指示	Today's leaderの後についてみんなで言う。	●終わりの挨拶は言えない児童がいるので、練習をする必要がある。③

【資料3】

	See you next time.	
--	--------------------	--

次時及び今後への改善点

- | | |
|---|---|
| ① | 「指導者の話を聞いてください。(Listen to me.)」の指示も多いため、次時の Classroom English に Listen to me. を加える。
毎時間(状況により2時間ごとに)1つずつ増やして、よく使う Classroom English を定着させる。
(毎時間の始めに帯び活動で入れる)
Listen to me.の次は Repeat after me.を入れる。 |
| ② | 次時の warm up で数のテリトリーゲームを行う。 |
| ③ | Today's leader(日直)の挨拶や Classroom English は英語教室の壁に貼る等、児童がいつも見えるように掲示する。 |

	<p>次の単元 What's this?</p> <p>配当時間は4時間</p> <p>1時間目 新しい言語材料 What's this? It's ~.</p> <p>2時間目 What's this? It's ~. That's right. を chants やゲームで慣れ親しむ。</p> <p>3時間目 Textbook Let's Try I Unit8 P.32 の絵の中からクイズを作り、グループ内でクイズを出し合う。 Classroom English に Make groups.を入れる。</p> <p>4時間目 学習した言語材料を使う効果的な言語活動は話す(発表)活動をする。 全員がクラス全体にクイズを出す。 パフォーマンス評価を行う。 自己評価とグループ内での相互評価を行う。 ワークシートに相互評価表も準備をする。</p>
--	---

【資料4】

大和郡山市立筒井小学校 外国語活動授業記録		
(6)月(4)日(火)(1)限		
教材(Hi, friends!! Lesson7 What's this? P.30)		
本時のめあて(身の回りのものについて、たずねたり答えたりする表現を使ってみよう。)		
授業内容・指導者の指示と動き	児童の活動状況	○良い点・●課題
(Greetings)元気よく挨拶する Let's start today's lesson. Hello, everyone. How are you? Make pairs. Let's start greeting.	元気よく挨拶する Let's start today's lesson. Hello, Mr. ○○ and Ms. ○○. 隣または前後でペアになり、挨拶をする。	○ペアワークでスムーズに挨拶ができていた。
(Classroom English)Stand up. Raise your hand. Make pairs. Listen to Me. Repeat after me. 発音練習の後、動作をつけてチャンツで練習	発音練習の後、動作をつけてチャンツで練習	○毎時間繰り返すことで「わかる」「言える」という自信をもって全員できた。 発音練習→発音+動作→手拍子に合わせて発音+動作→リズムを速くして発音+動作→音楽に合わせて発音+動作 段階的にしたこと、無理なく楽しんでできた。①
(Let's Chant)What's this? 大きな声で児童と一緒に歌う。	P.30 What's this?のチャンツをデジタル教材の音声に合わせて歌う。	●1回目、声が小さい。2回目、少し出るが、何という英語を言うのか理解できている児童が少ない。②
(Activity)Heads Up 児童に絵カードを配る。配られたカードは見ない。自分のカードに何が描かれているのかわからないから、カードを絵が見えるようにおでこに当て、グループの友だちに What's this?と聞く。 グループのみんなは拳手をしてヒントを言う。T1,T2 のデモンストレーションを通して活動の方法と種類、色、形などをヒントにすることも示す。 What's this? It's ~. That's right.を定着させる。	6人グループを作る。 最初に出題する児童を決める。 What's this? Hint 1, it's ~. Hint 2, it's ~. Hint 3, it's ~. It's ~. That's right. 以上の表現を使って活動を行う。	●「配られたカードは見ない」という指示がなかったため、すぐに見ていた児童も多かった。③ ○デモンストレーションにより、グループで行う Heads Up の内容が全員に理解できた。 ○OTI の説明中、児童は早くやりたくてうずうずしていた。 ○大変意欲的に活動できた。 ●That's right.が言えないグループが多かった。④
(次時のクイズ大会について) 学級でのクイズ大会のデモンストレーションをして、イメージを持たせる。	次時のクイズを作る。	
(Reflection)		●時間がなくてできなかった。 振り返りの時間を必ず確保する。⑤
(Greetings)That's all for today. Did you enjoy today's lesson?		

【資料4】

See you next time.	See you next time.	
--------------------	--------------------	--

次時及び今後への改善点・特記事項

①	classroom English の児童への定着がすばらしい。 今後もこの形で続けていく。
②	デジタル教材のチャンツが速いため、発音練習でしっかり言えるまでになっていないと参加できない。 発音練習を繰り返して行う。 チャンツや音に合わせて声に出す活動は、「発音できるようになっている」状態になってから行う。そうでないと、参加できなかった、という気持ちが児童に残ってしまう。
③	指導者が動作をしながらの説明は、児童は聞けていないため、ルールなどは徹底できない。カードを配る前にしっかり指示を行う。 6枚のカードの内容を知った上で活動を行うのと、全く知らない状態で行うのとでは難易度が随分違う。知らない方が、友だちのヒントを聞く際しっかり集中し、ヒントを出して答えが出たときの嬉しさも大きい。発話への自信がない児童にとっては、あらかじめ知っている方が安心感がある。児童の状態に合わせる事が大切。
④	クイズに正解だったとき、That's right. と言うことを次時にもう一度練習する。 活動の前にやりとりの英語の復唱を入れた方がよい。児童が単語だけでやりとりをする場面が多くあった。
⑤	外国語の時間にできなかったため、学級に戻ってから振り返りシートへの記入をすることになった。 シートを活用し、読む・書く活動もぜひ取り入れたい。 次時は、話す(発表)活動のため、パフォーマンス評価を行う。 次時のパフォーマンスについては、児童にとって初めてなので、安心して取り組めるように配慮する。 シートの自己評価やグループ内での相互評価についてわかりやすく説明を行う。相互評価については、ふざけず、誠意をもって行うことや発表を聞く姿勢についてとくに丁寧に説明する。
⑥	本時のめあては達成できたと思われる。
⑦	デモンストレーションの後、ヒントの内容(種類・色・形など)を確認できたことが良かった。
	A児:指導者の支援もあり、活動に参加する。

【資料5】

大和郡山市立筒井小学校 外国語活動授業記録		
(6)月(6)日(木)(2)限		
初めてのパフォーマンス 本時のめあて(みんなに伝わるように工夫してクイズを出題しよう。)		
授業内容・指導者の指示と動き	児童の活動状況	○良い点・●課題
(Greetings) 元気よく挨拶する Let's start today's lesson. Hello, everyone. How are you? Make pairs. Let's start greeting.	元気よく指導者に挨拶する 隣または前後でペアになり、挨拶をする。	○ペアワークでスムーズに挨拶ができた。
(クイズ大会について説明・グループでの相互評価について説明) 聞く姿勢の大切さについて。 相互評価のデモンストレーションをする。	指導者の話をしっかり聞く。	○説明のとき、Listen to me.の指示で全員顔を上げてしっかり聞くことができた。 ○ワークシートを配ったとき、That's right.を指して、「何て言うんですか?」と二人の児童が質問した。①
(Activity) クイズ大会(グループワーク) 必要に応じて、児童を支援する。	発表の順番は、グループ内で決める。友だちの発表をしっかりと聞き、クイズに答える。友だちのがんばったところを見つける。	○児童は大変楽しく活動できた。グループでの発表にしたため、不安のある児童も参加しやすかった。 ○楽しく積極的に活動できた。②
(Reflection)クイズ大会が終わったグループは、自己評価をする。	振り返りシートを記入し、自分の発表について自己評価する。	○授業の始めに自分で立てた目標が達成できたかどうかを各自赤ペンで記入した。
(Classroom English) Make groups.を加える。		●Make groups.は Make pairs.の後に入れる方がリズムが良い。
(Greetings) That's all for today. Did you enjoy today's lesson? See you next time.	元気よく挨拶する。 See you next time.	

次時及び今後への改善点

①	二人の児童が質問してくれたおかげで、全員で確認することができた。
②	最初、全員の前で発表することを計画していたが、初めてということもあり、グループでの発表にして良かった。ヒントを3つ全て聞いてから答えるのか、1つ目から答えていいのか説明が必要であった。発表の時間的余裕があったので、ゆっくりと発表できた。
	A児:指導者の支援もあり、発表できた。 B児:相互評価では友だちの評価をしていた。発表は何も見ずにした。

大和郡山市立筒井小学校 外国語活動授業記録		
(6)月(13)日(木)(5)限		
教材(Alphabet)		
本時のめあて(アルファベットの小文字と読み方をしよう。)		
授業内容・指導者の指示と動き	児童の活動状況	○良い点・●課題
(Greetings)元気よく挨拶する Let's start today's lesson. Hello, everyone. How are you? Make pairs. Let's start greeting.	元気よく指導者に挨拶する 隣または前後でペアになり、挨拶をする。	○ペアワークでスムーズに挨拶ができた。
(Classroom English) Stand up. Raise your hand. Make pairs. Make Groups. Listen to Me. Repeat after me. 発音練習の後、動作をつけてチャンツで練習	発音練習の後、動作をつけてチャンツで練習 A児:動作も発音も練習した。 B児:動作も発音も練習した。	○毎時間繰り返すことで全員が自信をもって取り組めた。
(Review)大文字アルファベット 発音練習, ABC ソングを児童と一緒に歌う。	大文字アルファベット 発音練習, ABC ソングを歌う。	○ABC ソングは大きな声で歌えた。
(Activity-1) 小文字のアルファベットカードを黒板の大文字の横に貼る。黒板に貼り終えたら、確認し、大きな声で発音する。発音練習 2 回目は T2 と交代した。ABC ソングを児童と一緒に歌う。	小文字のアルファベットカードを T1 にもらい、黒板の大文字の横に貼る。発音練習の後 ABC ソングを大きな声で歌う。	●貼り終えた後は、大文字のカードを外す方が良かった。 ●T1 はマスクをしていたので、アルファベットの発音の口の動きがわからなかった。
(Activity-2) 小文字アルファベットの Territory game グループに分かれ、机の移動後デモンストレーションする。	6 グループに分かれる。5つ机を横一列に並べる。机の上に小文字のアルファベットカードをランダムに並べる。机の端と端に 1 グループが順番に並ぶ。一人ずつ両端からアルファベットをタッチしながら発音する。出会ったところで English じゃんけんをする。負けた児童は自チームの最後尾にまわり、勝った児童は続けて発音をしていく。	●指示を理解できない児童がいた。 ●机にカードを並べるとき、方向を統一しておく必要があった。p/q b/d が見る方向によってわかりにくかった。①
(Writing)a~n 手本を見ながら書く。	小文字アルファベットを書く活動。	●シートの 4 本線は、一段目と二段目の境目がわかりにくいので、工夫が必要②
(Reflection) 振り返りシートの記入	振り返りシートを記入し、今日の活動を振り返る。	●黒板の「めあて」がアルファベットカードで隠れていた。
(Greetings)That's all for today.		

Did you enjoy today's lesson? See you next time.	See you next time.	
---	--------------------	--

次時及び今後への改善点・特記事項

①	チーム対抗でスピードを競うようなゲームであったので、児童は発音することよりタッチしてじゃんけんするゲームの面白さに重点を置いてしまった。
②	アルファベットだけを書かせるのではなく、フレーズや文の中の一部として書かせ、読む活動と合わせる方が良い。
	<p>A 児 ABC ソングのとき、一緒に歌っていた。 Territory game に最初は参加したが、後半は参加しなかった。 振り返りシートを記入したが、自己評価は全て「できなかった」と回答した。</p> <p>B 児 元気に挨拶、classroom English も元気にできた。 復習の大文字の発音は一緒にしていたが、黒板に小文字のアルファベットカードを貼る活動は参加しなかった。 (B児にカードを渡していたら参加していたか?) Territory game は参加しなかった。振り返りシートの記入もしなかった。</p>